



発行：なごやか地域福祉 2020 推進事務局

令和2年度にスタートした『なごやか地域福祉2020』は、今年度で3年目に突入しました。令和3年度は、3つのワーキンググループを作り、コロナ禍における地域福祉の取り組みの現状や課題等について共有・検討を行いました。

今回のニュースでは、令和3年度の取り組み状況についてご紹介します！



「地域福祉に関する懇談会」を開催しました！

令和4年2月に、書面にて開催した「地域福祉に関する懇談会」では、ワーキンググループで共有された主な取り組み内容や実績等、地域福祉に関する取り組み状況等について報告を行い、懇談会委員のみなさまからたくさんのご意見をいただきました。令和4年度は、いただいたご意見を踏まえながら、計画を進めていきます。

委員のみなさまからいただいたご意見の一部をご紹介します



- ・対面によることなく、人が人とのつながりを実感できる仕組みをつくる工夫をしていくこと、それとともに社会的弱者の集う場への参加を促していく取り組みが重要。
- ・地域の支え合いは対面によらずできるとは思えない。感染対策をしながらどのように行えるか検討すべき。
- ・コロナ禍での相談件数の増加と相談傾向からみて、計画に見直しの必要はないかについて、引き続き検討を進めていただきたい。
- ・教育現場における虐待等についての福祉的視点、教育と福祉の協働についてスクールソーシャルワーカーの実情と合わせて本計画・本事業においても関心をもつ必要がある。
- ・ボランティア活動者について、制度で動いてくださる方と自発的な支援者とをうまく配備できるとよい。
- ・コロナ禍を乗り切るアイデアとしてあげられているICT、SNS、動画等については、大いに活用しつつも過大評価せず、こうしたツールからもれる層にこそ注意を払う必要がある。
- ・困ったときに支えあい、助けあえる状況を作っていくのは大変地道な支援が必要。まずはこのプランや理念をできるだけ多くの市民に情報発信をして考える機会を増やす必要がある。



「見守り活動虎の巻」を作成しました！

地域で見守り活動を行っている方の、「異変に気づいたときにどこに相談したらよいかわからない」「緊急事態にどう行動したらよいかわからない」などの見守り活動に関する不安が少しでも解消され、安心して見守り活動を行っていただけるよう、見守り活動に関する手順やポイントをまとめた冊子を作成しました！



以下の名古屋市公式ウェブサイトからダウンロードできます！

<https://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/page/0000009766.html>

公式ホームページでは、計画の推進状況を順次お知らせしています。

なごやか地域福祉2020

検索



包括的相談支援チーム、順次拡大していきます！ (重層的支援体制整備モデル事業の実施)



令和3年4月、社会福祉法の改正により「重層的支援体制整備事業」が位置づけられました。難しい名前ですが、例えば、親と子の同居世帯で、親世代の介護に関する問題と子に障害があることでの生活のしづらさを同時に抱えた世帯など、複合的で複雑な生活課題を抱える世帯があります。こういった世帯に対し、『高齢』『障害』『児童』といった分野を超えて関係する機関が集まり包括的な相談支援を行うことができるよう、順次、各区に「包括的相談支援チーム」を設置していく予定です。

様々な機関のとりまとめを行ったり（協働の中核機能）、「困った！」「助けてほしい！」と言い出せない方や人との関わりを持つのが苦手な方に対しその方の気持ちに寄り添いながら“はじめの一步”として接したり（アウトリーチ）、地域とのつながりづくりや様々な場への参加ができるように関わったりする（参加支援）役割が期待されています。

令和4年4月から、北区・西区・中村区・南区の4区でモデル的にはじめていますが、今回は北区での取り組みを一部ご紹介します。

【北区の取り組み】



「なごや・北地域共生のまちづくりコンソーシアム（名古屋市社会福祉協議会・北区社会福祉協議会）」により包括的な相談支援体制の構築に向けて取り組んでいます。

地域の中にはさまざまな困りごとを抱えていながらも、必要な情報や支援が届いていないことがあります。そこで、企業・店舗、関係団体の協力を得て、

身近なところで「様子がおかしい」「大丈夫？」と気づいたら相談窓口につなぐ取り組み「きづき・つなぐプロジェクト」が始まっています。

地域住民、関係機関や民間企業等が連携し、気にかけてあう関係づくりを進め、制度の狭間や複雑で複合的な課題を抱える世帯の早期発見、包括的支援チームによる具体的な支援につなげていきます。

名古屋市では全区での実施に向けて、地域の状況を踏まえ、順次準備を進めていきます。

「きづき・つなぐプロジェクト」のイメージ

